

() 障害特別支援学級

学校名 〇〇市立〇〇小学校

校長名 〇〇 〇〇 印

学級名 〇〇 学級

担任氏名 〇〇 〇〇

在籍児童数 3名

※押印の有無については、各市町村教育委員会の規定による

1 学級の指導目標

- ①挨拶や身の回りの整理整頓を中心とした基本的な生活習慣の確立を図る。
- ②生活単元学習では、期待をもって取り組むことができる学習活動を用意し、単元に見通しをもてるようにすることで、意欲的に取り組む児童を育てる。また、生活単元学習と教科等との関連を図ることで、目的意識をもって教科学習に取り組むことができるようにする。
- ③個々の発達の状態や学び方の特性等学習状況に応じた具体的な指導内容を設定することで、教科学習の充実を図る。
- ④体育の授業を充実し、体力の向上を図るとともに、基本的な動きを身に付ける。
- ⑤友達児童同士の関わり方について具体的に指導・支援し、より良い人間関係をつくる。
- ⑥交流及び共同学習を進め、社会性、協調性を育てる。

2 特別支援学級担任の授業時数

- ①特別支援学級担任の特別支援学級における週当たりの授業時数 28 時間
- ②特別支援学級担任の通常の学級の教科等担当授業時数 時間(クラブ・委員会は除く)

[内訳] 担当教科名等 (時間)

特別支援学級担任が担当する授業に色を付ける等すると、担任の特別支援学級での授業時数が分かりやすい

3 週時程表 (一単位時間は45分で計算)

児童1 (3学年)

校時	曜日 時間	月	火	水	木	金	週当たり授業時数	
							教科等	時数
1	8:25 ∩ 9:10	体育 (A)	体育 (A)	体育 (A)	国語 (A)	国語 (A)	国語	5
							社会	
							算数	
2	9:20 ∩ 10:05	国語 (A)	国語 (A)	国語 (A)	理科 (C)	算数 (A)	理科	2
							生活	
							音楽	
3	10:30 ∩ 11:15	算数 (A)	算数 (A)	算数 (A)	道徳 (A)	理科 (C)	図画工作	2
							家庭	
							体育	
4	11:25 ∩ 12:10	総合 (A)	総合 (A)	音楽 (B)	自立 活動 (A)	音楽 (B)	外国語	1
							特別の教科 道徳	
							外国語活動	
5	13:45 ∩ 14:30	特活 (B)	生活単 元学習 (A)	生活単 元学習 (A)	算数 (A)	図画 工作 (B)	総合的な 学習の時 間	2
							特別活動	
							自立活動	
6	14:45 ∩ 15:30		生活単 元学習 (A)	外国語 活動 (B)		図画 工作 (B)	日常生活の指導	3
							生活単元学習	
							合計	28

- 注 1) 同じ障害種の特別支援学級が複数ある場合においても、それぞれの学級ごとに作成すること。
2) 枠内は教科・領域ごと、()内は担当者を記号(例ABC)で記入すること。
3) 「総合的な学習の時間」は、各学校の名称を記入すること。
4) 児童1名に対して1つの週時程表を作成したり、児童数や学年数に応じて授業の枠を分割して一人一人の週時程を示したりする等、在籍する全ての児童の週時程が分かるようにすること。

児童2 (5学年)

校時	曜日 時間	月	火	水	木	金	週当たり授業時数	
							教科等	時数
1	8:25 ∩ 9:10						国語	
							社会	
							算数	
2	9:20 ∩ 10:05						理科	
							生活	
							音楽	
3	10:30 ∩ 11:15						図画工作	
							家庭	
							体育	
4	11:25 ∩ 12:10						外国語	
							特別の教科 道徳	
							外国語活動	
5	13:45 ∩ 14:30						総合的な学習の時間	
							特別活動	
							自立活動	
6	14:45 ∩ 15:30						日常生活の指導	
							生活単元学習	
							合計	

児童3 (6学年)

校時	曜日 時間	月	火	水	木	金	週当たり授業時数	
							教科等	時数
1	8:25 ∩ 9:10						国語	
							社会	
							算数	
2	9:20 ∩ 10:05						理科	
							生活	
							音楽	
3	10:30 ∩ 11:15						図画工作	
							家庭	
							体育	
4	11:25 ∩ 12:10						外国語	
							特別の教科 道徳	
							外国語活動	
5	13:45 ∩ 14:30						総合的な学習の時間	
							特別活動	
							自立活動	
6	14:45 ∩ 15:30						日常生活の指導	
							生活単元学習	
							合計	

※前ページの「2 特別支援学級担任の授業時数」については、児童1だけでなく、児童2と児童3も含めて、担任Aが特別支援学級で行う、1週間の授業時数となる。

() 障害特別支援学級

学校名 〇〇市立〇〇中学校

校長名 〇〇 〇〇 印

学級名 〇〇 学級

担任氏名 〇〇 〇〇

在籍生徒数 5名

※押印の有無については、各市町村教育委員会の規定による

1 学級の指導目標

- ①基本的な生活習慣を身につけ、実社会への適応を図ることができるようにする。
- ②基礎的な学力の向上を図り、意欲的に学習に取り組む態度を育てる。
- ③小集団でより良い対人関係を育てながら、豊かな社会性を身につけることができるようにする。

2 特別支援学級担任の授業時数

- ①特別支援学級担任の特別支援学級における週当たりの授業時数 27時間
- ②特別支援学級担任の通常の学級の教科等担当授業時数 0時間 (クラブ・委員会は除く)

[内訳] 担当教科名等 (_____ 時間)

特別支援学級担任が担当する授業に色を付ける等すると、担任の特別支援学級での授業時数が分かりやすい

3 週時程表 (一単位時間は50分で計算)

生徒1 (1学年)

校時	曜日 時間	月	火	水	木	金	週当たり授業時数	
							教科等	時数
1	8:25 ↓ 9:10	国語 (A・E)	数学 (A・C)	音楽 (D)	国語 (A・E)	体育 (A)	国語	4
							社会	2
							数学	4
2	9:20 ↓ 10:05	社会 (B)	道徳 (A)	数学 (A・C)	数学 (A・C)	国語 (A・E)	理科	1
							音楽	1
							美術	1
3	10:30 ↓ 11:15	自立活動 (A)	技術・家庭 (H・I)	作業 (A)	体育 (A)	作業 (A)	保健体育	2
							技術・家庭	1
							外国語	1 (英語)
4	11:25 ↓ 12:10	数学 (A・C)	生活単元学習 (A)	作業 (A)	作業 (A)	作業 (A)	特別の教科 道徳	1
							総合的な学習の時間	2
							特別活動	1
5	13:45 ↓ 14:30	学活 (B)	社会 (A・J)	美術 (K)	生活単元学習 (A)	総合 (A)	自立活動	1
							日常生活の指導	
							生活単元学習	2
6	14:45 ↓ 15:30		国語 (A・E)	理科 (C・G)	英語 (A・F)	総合 (A)	作業学習	5
合 計							29	

- 注 1) 同じ障害種の特別支援学級が複数ある場合においても、それぞれの学級ごとに作成すること
- 2) 枠内は教科・領域ごと、()内は担当者を記号(例ABC)で記入すること。
- 3) 「総合的な学習の時間」は、各学校の名称を記入すること。
- 4) 生徒1名に対して1つの週時程表を作成したり、生徒数や学年数に応じて授業の枠を分割して一人一人の週時程を示したりする等、在籍する全ての生徒の週時程が分かるようにすること。

生徒2 (2学年)

校時	曜日 時間	月	火	水	木	金	週当たり授業時数	
							教科等	時数
1	8:25 ∫ 9:10						国語	
							社会	
							数学	
2	9:20 ∫ 10:05						理科	
							音楽	
							美術	
3	10:30 ∫ 11:15						保健体育	
							技術・家庭	
							外国語	
4	11:25 ∫ 12:10						特別の教科 道徳	
							総合的な学習の時間	
							特別活動	
5	13:45 ∫ 14:30						自立活動	
							日常生活の指導	
							生活単元学習	
6	14:45 ∫ 15:30						作業学習	
							合計	

生徒3 (3学年)

校時	曜日 時間	月	火	水	木	金	週当たり授業時数	
							教科等	時数
1	8:25 ∫ 9:10						国語	
							社会	
							数学	
2	9:20 ∫ 10:05						理科	
							音楽	
							美術	
3	10:30 ∫ 11:15						保健体育	
							技術・家庭	
							外国語	
4	11:25 ∫ 12:10						特別の教科 道徳	
							総合的な学習の時間	
							特別活動	
5	13:45 ∫ 14:30						自立活動	
							日常生活の指導	
							生活単元学習	
6	14:45 ∫ 15:30						作業学習	
							合計	

※前ページの「2 特別支援学級担任の授業時数」については、生徒1だけでなく、生徒2と生徒3も含めて、担任Aが特別支援学級で行う1週間の授業時数となる。

【教育課程届出様式例・記入例（小学校用A）】

届出用紙 NO 2

3. 年間指導計画

学校名 ○○小学校 学級名 ○○学級 (○学年) (知的)

令和○年5月1日現在

月 単元の名称	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
各 科 教	国語	物語を読もう ・学校図書館 の利用 漢字ドリル等	運動会のダンスを教えよう ・動きを表す 説明文	しおりを作ろう ・活動の説明	手紙を書こう ・暑中お見舞い ・自分の住所	ぼく・わたしの たからもの ・たからもの紹介 ・インタビュー	しおりを作ろう ・動物の名前 ・乗り物	音読発表会を しよう ・本の選択 ・音読	手紙を書こう ・年賀状 ・十二支	書き初め かるたゲーム	本を作ろう ・視写 ・挿絵	手紙を書こう ・お礼の手紙 ・出し方 1年のまとめ →
	算数	数を数えよう ・数字の練習 計算ドリル	時刻と時間 ・時計の読み なんばんめ	買い物をしよう ・お金の種類 ・〇十円 ・〇百円	1学期の復習 ・数字 ・計算	大きな数 ・10の束作り ・100の束作り	買い物をしよう ・お金の種類 ・お金の計算	ぬりえ作り ・三角形と四 角形 線路作り	長さ ・どっちが長 い ・cm、 m	すごろくをし よう ・さいころ作り ・問題作り	重さ ・どっちが重 い ・kg、 g	1年のまとめ →
	音楽 ※交流	楽譜を読もう ・春の小川	→ ・茶つみ	リコーダー をふこう	拍のながれ にのろう	色々な音色 を感じ取ろう ・うさぎ	旋律の特徴 を感じ取ろう	→ ・ふじ山	音の重なり を感じ取ろう	日本の音楽 に親しもう	音楽を楽し もう	・卒業式歌
	図工 ※交流	大好き自分の 線と色 楽しく使おう	広がれつなが れ こんなこと があったら	切ってけず って クルクル風 パワー	材料からひ らめき 光を通して	ガラスびん の変身 ト ントンサク サク木の名人	アート探検 隊 あの時をわ すれない	自然からの 贈り物 クルクルメ カ	ゴムの力で トコトコ 虫さんラン ド	物語の世界 クミクミッ クス	優しいモン スター	版を使って
	体育 ※交流	多様な動きを 作る運動	リレー かけっこ	マット運動	水泳 保健「健康つ	鉄棒 保健「健康な	体ほぐしの 運動 幅跳び	ゴールボー ル	高跳び 体ほぐしの運 動	跳び箱 ソフトバレー ボール	表現運動 保健「部屋の 明るさと空 気」	キックベー スボール
特別の教科 道徳※交流	交流及び共同学習を実施する教科等については、交流及び共同学習を行う学級の学習内容を各月の枠に記載する。 B (8) (9) C (11) B (6)、C (11)											
外国語活動 ※交流	Hello! あいさつをして友達になら う	How are you? ごきげんいか が?	Haw many? 数えてあそぼ う	I like blue. すきなものを つたえよう	What do you like? 何が好き?	ALPHABET アルファベッ トとなかよし	This is for you. カードをおくろ う	What's this? これなあに?	Who are you? きみはだれ?			
総合的な学習の時間 ※交流	プロに学ぼう			→	日本の文化に 触れよう		→	感謝をこめて		→		
学級活動 ※交流	学級役員と係 活動	室内オリンピ ックの計画	雨の日の過ご し方	夏休みを有意 義に過ごそう	運動会の役員 決め	学級役員と係 活動	3世代交流会	旅立ちに向け て	学習のやり方 の工夫	学級文集を作 ろう	卒業式へ	
自立活動	約束やルールを守る 心(2)、人(2)、コ(2)		よく見る、よく聞く 環(5)、コ(2)		手先の巧緻性を高める 心(1)、身(3)		友達と協力する 心(1)、人(1)、コ(2)		場面に応じた言葉を使う 人(4)、コ(5)	友達に伝えたいことを伝える 環(2)、人(1)		
各 教 科 等 を 合 わ せ た 指 導	日常生活の 指導	朝の会（挨拶、返事、日にち調べ、天気、献立、日課表調べ、衛生検査、日記発表、係活動、朝自習、日記）、着替え、そうじ、給食、トイレ、手洗い等につ いての指導は毎日の学校生活の中で適宜指導していく。										
	生活単元学習	なかよし会を しよう ・自己紹介表 ・ゲームの準備	運動会に 参加しよう ・種目練習 ・用具作り	○○市を探検 しよう1 ・バス、電 車の利用 ・施設の利 便性 ・活動の共通	夏休みを楽し く過ごそう	遠足に行こう ・バスの利用	野菜をパーテ ィーをしよう	○○市を探検 しよう2	お楽しみ会を しよう	版画カッダーを 作ろう 版下作り 印刷	市内合同学習 発表会をしよ う ・発表練習	1年間がんば ったねの会を しよう ・記念品作り ・ゲーム ・調理
	花や野菜を育 てよう	きゅうり・なす苗植え ミニトマトの苗植え		記入例は、理科と社会を合わせた指導を生活単元学習で行っている。 理科と社会の時間を設定して指導を行っている場合には、それぞれの教科の年間計画指導計画に記載する。	開花					根植え		→

【教育課程届出様式例・記入例（小学校用B）】

届出用紙 NO 2

3. 年間指導計画

学校名 ○○小学校 学級名 ○○学級（○学年）（自閉・情緒）

令和○年5月1日現在

月 単元の名称	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
各 教 科	国語	薫風, 迷う 漢字ドリル等	日本語をコンピューターで表す	春はあけぼの	随筆を書く	心を見せる言葉	川とノリオ	ぼくの世界君の世界	きつねの窓	選んで書く	伊能忠敬 先輩からの手紙	
	算数	円の面積 文字と式 計算ドリル	分数のかけ算	分数のわり算 対称の形	比と比の値	拡大図と縮図 速さ	角柱と円柱の 体積	比例と反比例	資料の調べ方	場合の数	量の単位のし くみ 算数卒業旅行	
	社会	大昔の暮らし	武士の世の中		→	近世国家へ の歩み	戦争から平 和へ	→	暮らしの中 の政治	→	日本と世界 のつながり →	
	理科 ※交流	物の燃え方	体のつくりと はたらき	植物と日光 や水	生物とその 環境	月と太陽	土地のつく りと変化	水溶液の性 質	→	てこのはた らき	電気の性質	生物と地球
	音楽 ※交流	音のひびき合 い ・ロックマイ ソウル	・カノン ・マルセリー ノの歌 ・ケチャ	曲の特徴を 生かして ・つばさをく ださい	交響曲第5 番「運命」	世界の音楽 めぐり ・世界の音楽	・ジュディ ンデデン ・春の海	豊かな表現 ・語り合おう	・ふるさと ・さようなら	気持ちをこ めて ・さようなら	・さような ら	・音楽アル バム
	図工 ※交流	感じたままに 私のお気に入りの場所	切った粘土の 切り口から	強くてやさ しい組み木 パズル	動き出すス トーリー 時間コレク ション	墨の歌 「窓」の向 こうは	写して見つけ た私の世界 布と枝のコン サート	おどる光、 遊ぶかげ いろいろな 見方で	はさみと紙 のハーモニ ー	白い物語白 い世界	わたしはデ ザイナー 12さいの 力で	伝え方を楽 しもう
	体育 ※交流	体力を高める 運動 ハードル走	リレー リズムダンス 短距離	マット運動	水泳	鉄棒 保健「病気 の予防」	体ほぐしの 運動 走り幅跳び	ソフトボー ル	走り高跳び 体力を高める 運動	跳び箱 フラッグフッ トボール	表現運動 保健「病気 の予防」	サッカー
	家庭 ※交流	くふうしよう 朝の生活	きれいにしよ うクリーン大 作戦	暑い季節を快 適に	→	生活を楽しく ソーイングし よう	→	くふうしよ う 楽しい食事	→	考えようこ れからの生 活	→	→
特別の教科 道徳 ※交流	自然を大切に 挨拶する心 D(1)(2)(3)	より良い学校 に A(1)(2)(3)	柔軟な思想で 物事を考える A(1)(2)(3)	見えない規律 A(1)(3)	広い心で 誠実に A(1)(2)(3)	日本人として の誇り A(1)(2)(3)(7)(18)	自己の可能性 を広げる A(4)、D(22)	差別を許さな い C(13)	人の真心 B(9)(10)	くじけない心 A(5)	自分の中の宝 物 B(8)、C(15)	
外国語 ※交流	Lesson6 Do you like you	交流及び共同学習を実施する教科等については、交流及び共同学習を行う学級の学習内容を各月の枠に記載する。					Lesson6 Do you like you	→	Lesson7 We are good friends	→	Lesson8 What do you want	→
総合的な学 習の時間 ※交流	プロに学ぼう			→	日本の文化に 触れよう			→	感謝をこめて		→	
学級活動 ※交流	学級役員と係 活動	室内オリンピ ックの計画	雨の日の過ご し方	夏休みを有意 義に過ごそう	運動会の役員 決め	学級役員と係 活動	3世代交流会	旅立ちに向け て	学習のやり方 の工夫	卒業文集を作 ろう	卒業式へ	
自立活動	友達と仲良く遊ぼう 心(1)、人(2)(4)		自分の得意、不得意を知ろう 心(3)、人(3)、環(2)		こんなときどうする？ 健(4)、心(2)、人(4)、コ(5)		指先を使って作ろう 心(1)、身(5)		よく見て、聞いてみよう 環(5)、コ(2)	友達に伝えよう コ(3)、環(5)		

【教育課程届出様式例・記入例（中学校用A）】

届出用紙 NO 2

3. 年間指導計画

学校名

〇〇中学校

学級名

〇〇学級

（〇学年）（知的）

令和〇年5月1日現在

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3			
各 科	国語	年間を通して漢字やひらがな等、個に応じた学習を進める 自分の氏名・身の回りの言葉		音読と絵日記		作文を書く		ことわざカルタ		年賀状		書き初め	群読	ワープロ
	社会	私たちの町調べ		世界の国を知る		日本の都道府県（地図の見方を含む）				産業調べ		歴史上の人物調べ		身近な社会のきまり
教 科	数学	年間を通して個に応じた計算課題を進める 正負の数とは		時間の応用問題		お金の計算（買い物を通して）		長さの学習・作図の学習		色々な形				まとめ
	理科	生物の学習（顕微鏡の活用を通して）		学校の木々の名称を調べる		化学反応（実験を通して）		星座を探そう		人体の仕組み(各部の働き)				まとめ
科	音楽 ※交流	校歌	鑑賞	創作	鑑賞	リコーダーの	合唱	鑑賞	器楽「箏」の	歌唱	創作	や全体の まり		合唱 音楽のまと まりを生かして
	美術 ※交流	交流及び共同学習を実施する教科等については、交流及び共同学習を 行う学級の学習内容を各月の枠に記載する。												
健 育	集団行動	スポーツ	バスケットボール・水泳		体育祭	柔道	マット運動	持久走	なわとび	サッカー				
	外国語	年間を通して、ゲームを活用したコミュニケーション活動に取り組む ローマ字		英語で名前 大文字・小文字の練習		単語の練習（月、曜日等）		クリスマス飾り		簡単な日常会話の練習				
特別の 教科道徳 ※交流	差別や偏見を許さない C(11)	かけがえのない命 D(19)	働くことの意味 C(13)	自己の発見と 伸長 A(3)	安全を心がける A(2)	他者を思う 気高い心 D(21)	世界の平和を願う C(18)	日本人としての自覚 C(17)	責任を持つこと の大切さ A(1)	信頼できる仲間 B(8)	挨拶する心 B(7)			
総合的な 学習の時間	キャンプに向けて ※内容により通常の学級で行う。			福祉について学ぶ			職場体験・職業人に学ぶ		進路について		活動のまとめ			
学級活動	学級役員と係活動	学級レクリエーション	自分に合った学習方法	夏休みの有意義な過ごし方	体育祭の役員決め	学級役員と係活動	ボランティア活動への参加	情報モラル意識の向上	学級文集の作成		卒業式に向けて			
自立活動	自己紹介する心(3)、人(3)、環(2)	基本的な運動・動作 手先の巧緻性を高める 心(3)、身(3)(5)		友達と協力する 心(1)、人(1)、コ(2)		よく見る、よく聞く 環(5)、コ(2)		相手や場に合った言葉を遣う 人(4)、コ(5)		自分の考えを伝える 環(2)、人(1)、コ(3)				
各 科 等 を 指 導	生活単元学習	楽しく中学校生活を始めよう	小・中学校合同学習に参加しよう		野菜パーティーをしよう	合唱コンクールに参加しよう	校外学習（合同学習）に行こう		買い物に行こう	日本のお正月を楽しもう	合同学習（送る会）に参加しよう	卒業を祝う会をしよう		
	作業学習	コースター作り	かご作り		プランター作り		折り畳み式いす作り							
		園芸（野菜の栽培）			園芸（花の栽培）									

【教育課程届出様式例・記入例（中学校用B）】

届出用紙 NO 2

3. 年間指導計画

学校名 ○○中学校 学級名 ○○学級（自閉・情緒）

令和○年5月1日現在

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
各教科	国語	春に新しい博物学の時代	みどり色の記憶	近代の俳句	不思議の国のアリス	狂言しりとり 無言館の青春	旅への思い 和歌の調べ	春の山河 歴史は失われた過去か	文化としての 科学技術 初恋	故郷	言葉の力	最後に一句
	社会	二度の世界大戦と日本	現代の日本と世界	人間を尊重する 日本国憲法	→	私たちの暮らしと民主政治	→	私たちの暮らしの経済	→	安心して暮らせる社会	国際社会に生きる私たち	学習のまとめ
	数学	1・2年生の復習	式の計算 多項式の乗法	因数分解 平方根	2次方程式	2次方程式 解の公式	2乗に比例する関数	三角形の相似	三平方の定理	3年間の復習	→	→
	理科	力の働き	物体の運動	仕事とエネルギー	生物の成長とふえ方	遺伝の規則性と遺伝子	自然界のつり合い	水溶液とイオン	天体の1年の動き	環境と人間の関わり	暮らしを支える科学技術	明るい未来のために
	・内容によって通常の学級で行う。											
	音楽※交流	歌唱 曲の特徴を生かして	リコーダー アンサンブル	創作 旋律づくり	鑑賞 オーケストラの豊かな表現	歌唱 曲の形式を生かして	器楽 ギター	表現 短い旋律の反復	鑑賞 オペラ、バレエ	合唱 曲想を味わいながら	鑑賞 歌舞伎、文学	
	美術※交流	交流及び共同学習を実施する教科等については、交流及び共同学習を行う学級の学習内容を各月の枠に記載する。										
	保健体育※交流											
	技術・家庭※交流											
	外国語	学校のチャイムはどんな音ですか	日本の火山	地球を救う5つのR	忠実なゾウ	世界を回るすし	日本の物について話そう	あなたにとって最も大切なものは	クリーンエネルギー資源	マザーテレサ	20年後	学習のまとめ
特別の教科 道徳※交流	差別や偏見を許さない C(11) 強い意志A(4)	かけがえのない命 D(19) 心遣いと感謝 B(6)	働くことの意義 C(13) 規律ある社会 C(10)	自己の発見と伸長 A(3) 考えを伝え合う B(9)	安全を心がける A(2) 社会参加の意味 C(12)	他者を思う気高い心D(21) 真理を探究し続ける A(5)	世界の平和を願う C(18) 郷土を大切に する心C(16)	日本人としての自覚C(17) 協力して取り 組む C(15)	責任を持つことの大切さ A(1) 親への感謝 C(14)	信頼できる仲間 B(8) 自己の弱さと向き合う D(22)	挨拶する心 B(7) 環境を大切に する D(20)	
総合的な 学習の時間※交流	修学旅行に向けて →			進路について → 将来の職業について →			入試に向けて →			→ 活動の まとめ		
学級活動※交流	学級役員と係活動	学級レクリエーション	自分に合った学習方法	夏休みの有意義な過ごし方	体育祭の役員決め	学級役員と係活動	ボランティア活動への参加	情報モラル意識の向上	卒業文集の作成		卒業式に向けて	
自立活動	約束やルールを守り、友達と良い関係をつくろう 心(1)、人(2)(4)		身だしなみを整えよう 健(1)、身(5)	自分の得意や不得意、長所や短所を知ろう 心(3)、人(3)、環(2)	自分に合った見方、聞き方を知ろう 環(5)、コ(2)		相手や場面に応じて言葉を使おう、行動しよう 健(4)、心(2)、人(4)、コ(5)		相手に気持ちを伝えよう コ(3)、環(5)			

【教育課程届出様式例・記入例（小学校）】

様式 I

4 児童生徒一覧表

学校名 ○○市立○○小学校

学級名 ○○学級 令和○年5月1日現在

届出用紙 NO 3

番号	学年	性別	生年 月 日	諸 検 査 等 (検 査 年 月 日)	特 記 事 項 (学 区 外 通 学 、 特 別 支 援 学 級 入 級 の 時 期 等)
1	1	男	H○.○.○	S-M式社会生活能力検査(R○.○.○)	入小1 ○○学区より
2	3	男	H○.○.○	S-M式社会生活能力検査(R○.○.○) WISC-IV(H○.○.○)	入小1
3	3	男	H○.○.○	S-M式社会生活能力検査(R○.○.○) K-ABC(H○.○.○)	入小3
4					
5					
6					
7					
8					

様式 I

5 週授業時数一覧表

学校名 ○○市立○○小学校

学級名 ○○学級

令和○年5月1日現在

番号	学年	教科別の指導										特別の教科 道徳	外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動	自立活動	各教科等を合わせた指導			週授業時数 総計	通常の学級での時数	
		国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語						日常生活の指導	生活単元学習	作業学習			
1																						
2																						
3																						
4																						
5																						
6																						
7																						
8																						

* 通常の学級で受けている授業については、各時数を()書きで示す。

様式 I

5 週授業時数一覧表

学校名 ○○市立○○中学校

学級名 ○○学級 令和○年5月1日現在

番号	学年	教科別の指導								特別の教科 道徳	総合的な学習の時間	特別活動	自立活動	各教科等を合わせた指導			週授業時数 総計	通常の学級での時数
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭					外国語	日常生活の指導	生活単元学習		
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		

* 通常の学級で受けている授業については、各時数を()書きで示す。

【教育課程届出様式例・記入例（特別支援学級担当教員等による通級による指導）】

様式Ⅱ

届出用紙 No 5

() 障害特別支援学級 (その)

学校名 〇〇市立〇〇小学校

校長名 〇〇 〇〇

印

学級名 〇〇 学級

担任氏名 〇〇 〇〇



- 1 通級している児童生徒数 (1) 自校 4 名
 (2) 他校 0 名

※押印の有無については、各市町村教育委員会の規定による

2 週時程表

校時	曜日 時間	月	火	水	木	金	週あたり授業時数	
							対象児童生徒番号	時数
1	8:30 ~ 9:15						No. 1	2
							No. 2	2
							No. 3	1
							No. 4	1
2	9:25 ~ 10:10		4	1			No.	
							No.	
							No.	
3	10:35 ~ 11:20	1				3	No.	
							No.	
							No.	
4	11:30 ~ 12:15	2		2			No.	
							No.	
							No.	
5	1:50 ~ 2:35						No.	
							No.	
							No.	
6	2:50 ~ 3:35						No.	
							合計	6

- 注 1) 担当教員ごとに作成すること
 2) 枠内には、対象児童生徒の番号（届出用紙 No. 6 の番号と一致する）を記入すること
 3) 週あたり授業時数欄は、指導対象児童生徒ごとの週あたりの時数を記入すること

①特別支援学級担任の特別支援学級における週あたりの授業時数 22時間
 ②特別支援学級担任の通常学級の教科等担当授業時数 0時間
 (クラブ・委員会は除く)
 [内訳] 担当教科名 (_____ 時間)、《 _____ 時間》

【教育課程届出様式例・記入例（特別支援学級担当教員等による通級による指導）】

様式Ⅱ

届出用紙 No. 6

学校名 〇〇市立〇〇小学校 障害種別 〇〇障害特別支援学級 担任名 〇〇 〇〇 令和〇年5月1日現在

児童生徒の実態及び指導内容

(例) 言語障害

番号	学年	性別	年齢	教育形態	学校名	障害の種類等	指導内容
1	3	男	8	自校	〇〇小学校	構音障害（側音化構音による音の歪み）	・舌を正しい形に置いて発音する練習 ・正誤自己弁別力を高める指導
2	4	女	9	他校	〇〇小学校	吃音（タ行音でのブロックが多い）	・言語症状改善に向けての指導 ・音読指導 ・学級適応指導

(例) 自閉症・情緒障害特別支援学級

番号	学年	性別	年齢	教育形態	学校名	障害の種類等	指導内容
1	1	女	6	自校	〇〇小学校	自閉的傾向	・要求言語の指導 ・スケジュールの理解
2	2	男	7	他校	〇〇小学校	多動	・行動のコントロール ・小集団の中での役割行動の学習

【教育課程届出様式例・記入例（通級指導教室）】
様式Ⅲ

届出用紙 No 7

（ ） 通級指導教室 （その ）

学校名 〇〇市立〇〇小学校

校長名 〇〇 〇〇

印

教室名 〇〇〇〇

担当者氏名 〇〇 〇〇

1 通級児童数 12 名

※押印の有無については、各市町村教育委員会の規定による

(1) 自校から通級している児童 7 名

(2) 他校から通級している児童及び学校名 5 名 (〇〇小2名、〇〇小3名)

2 週時程表

校時	曜日 時間	月	火	水	木	金	週あたり授業時数	
							対象児番号	時数
1	8:30 ~ 9:15	1	8	7	2	4	No. 1	5
							No. 2	3
							No. 3	2
							No. 4	4
2	9:25 ~ 10:10	4	9	1	1	1	No. 5	2
							No. 6	1 (隔週)
							No. 7	3
3	10:35 ~ 11:20	5	1	8	7	3	No. 8	2
							No. 9	2
							No. 10	1
4	11:30 ~ 12:15		4	4	5	7	No. 11	1
							No. 12	1 (隔週)
5	1:45 ~ 2:30	2	10	3	9	2		
6	2:40 ~ 3:25	6 12						
7	3:35 ~ 4:20					11		
							合計	26

注 1) 担当教員ごとに作成すること

2) 枠内には、対象児童の番号(届出用紙 No.6 及び No.8 の番号と一致する)を記入すること

3) 週あたり授業時数欄は、指導対象児童ごとの週あたりの時数を記入すること

①通級による指導の週あたりの総授業時数 26 時間
内訳 週あたり ① 1時間2名 ② 2時間4名 ③ 3時間2名 ④ 4時間1名 ⑤ 5時間1名
⑥ 1/2時間2名

②通級指導教室担当の通常学級の教科等担当授業時数 0 時間
(クラブ・委員会は除く)
〔内訳〕担当教科名 (_____ 時間)、《 _____ 時間》

※隔週、月1回の指導が認められているのは発達障害の通級指導教室のみ

【教育課程届出様式例・記入例（自校通級）】

様式Ⅲ

「通級による指導」を受けている児童生徒（その1）

在籍学校名 ○○市立○○小学校

※押印の有無については、
各市町村教育委員会の
規定による

届出用紙NO. 8

校長名

印

1 指導対象児童

指導対象児番号	性別	学年・組	週あたり指導時数	週あたり指導日数
1	男・女	1 年 1 組	週 5 時間	週 5 日
2	男・女	1 年 2 組	週 3 時間	週 3 日
4	男・女	2 年 1 組	週 4 時間	週 4 日
5	男・女	2 年 3 組	週 2 時間	週 2 日
7	男・女	3 年 3 組	週 3 時間	週 3 日
8	男・女	4 年 1 組	週 2 時間	週 2 日
9	男・女	1 年 3 組	週 2 時間	週 2 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日

合計 週 21 時間

2 週時程表 ※（1単位時間は45分でカウントすること）

校時	時間	曜日	月	火	水	木	金
1	8 : 30 ~ 9 : 15		1	8	7	2	4
2	9 : 25 ~ 10 : 10		4	9	1	1	1
3	10 : 35 ~ 11 : 20		5	1	8	7	
4	11 : 30 ~ 12 : 15			4	4	5	7
5	1 : 45 ~ 2 : 30		2			9	2
6	2 : 40 ~ 3 : 25						
7	3 : 35 ~ 4 : 20						

- 注 1) 週時程表の枠内には、指導対象児番号を記載する。
 なお、市町村教育委員会に報告する場合は、氏名でもよい。
 2) 指導対象児番号は、届出用紙NO. 6、NO. 7と一致すること。
 3) 1校に複数名該当する場合も、原則としてこの用紙1枚に記入する。

【教育課程届出様式例・記入例（他校通級）】

様式Ⅲ

届出用紙NO. 8

「通級による指導」を受けている児童生徒（その2）

* NO. 8の用紙は、他校通級している児童生徒の在籍学校ごとに作成する。

在籍学校名 ○○市立▲▲小学校

※押印の有無については、
各市町村教育委員会の
規定による

印

1 指導対象児童

指導対象児番号	性別	学年・組	週あたり指導時数	週あたり指導日数
3	男・女	1年 3組	週 2 時間	週 2 日
10	男・女	2年 1組	週 1 時間	週 1 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日
	男・女	年 組	週 時間	週 日

合計 週 3 時間

2 通級による指導学校・教室名

指導学校名 ○○市立○○小学校

教室名

3 週時程表 ※（1単位時間は45分でカウントすること）

校時	時間	曜日	月	火	水	木	金
1	8 : 30 ~ 9 : 15						
2	9 : 25 ~ 10 : 10						3
3	10 : 35 ~ 11 : 20						
4	11 : 30 ~ 12 : 15						
5	1 : 45 ~ 2 : 30			10	3		
6	2 : 40 ~ 3 : 25						
7	3 : 35 ~ 4 : 20						

- 注 1) 週時程表の枠内には、指導対象児番号を記載する。
 2) 指導対象児番号は、届出用紙NO. 6、NO. 7と一致すること。
 3) 1校に複数名該当する場合も、原則としてこの用紙1枚に記入する。